

平成27年7月7日

## 東北IM連携協議会（TAIM）第9回総会

### 次第

1. 開会
2. 挨拶            東北IM連携協議会代表幹事    柿崎 博美
3. 議長選出
4. 議事
  - 1) 第1号議案
    - ・平成26年度事業報告について
    - ・平成26年度収支決算報告について
  - 2) 第2号議案
    - ・平成27年度事業計画（案）について
  - 3) その他
    - ・役員所属変更の確認
5. その他
6. 閉会

## 1) 第1号議案

### ・平成26年度事業報告

- ① 東北IM連携協議会ワークショップ in 登米 ・ ・ ・ ・ ・ 資料1  
期 日 : 平成26年7月3日(木) 13:10～ 総会、ワークショップ  
4日(金) 9:00～ 施設見学(日高見牧場、みやぎの明治村等)  
会 場 : 宮城県登米市 サンシャイン佐沼  
参加人数 : 73名(各県IM、地域大学、関係機関、金融機関、企業等)
- ② 東北IM連携協議会ワークショップ in 米沢 ・ ・ ・ ・ ・ 資料2  
(兼JBIAシンポジウム)  
期 日 : 平成26年10月23日(木) 13:30～ 講演・情報提供・アワード等  
24日(金) 9:00～ 施設見学(研究機関、BI・支援機関)  
米沢商工会議所地域産業支援センター等  
会 場 : 山形県米沢市 アクティール米沢、小野川温泉河鹿荘  
参加人数 : 52名(各県IM、地域大学、関係機関、金融機関、企業等)
- ③ 各県IM養成研修への協力  
研 修 名 : 平成26年度 福島県街なか産業支援人材育成事業 IM養成研修  
期 間 : 平成26年9月 ～ 平成27年3月  
研修者数 : 8名
- ④ ビジネスマッチ東北2014 出展・マッチング協力  
期 日 : 平成26年11月6日(木)  
会 場 : 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ  
参加内容 : マッチング協力
- ⑤ 幹事会  
「第13回東北IM連携協議会幹事会」  
期 日 : 平成26年8月25日(月)  
時 間 : 15:30～  
場 所 : (独)中小機構東北本部 中会議室  
協議事項 : ①東北支援人材サミットについて  
②ワークショップ in 米沢について  
③その他  
  
「第14回東北IM連携協議会幹事会」  
期 日 : 平成26年9月29日(月)  
時 間 : 15:30～  
場 所 : (独)中小機構東北本部 中会議室

- 協議事項 : ①東北支援人材サミットについて  
 ②ワークショップ in 米沢について  
 ③その他

「第 15 回東北 I M 連携協議会幹事会」

期 日 : 平成 27 年 3 月 12 日 (木)

時 間 : 15:00～

場 所 : (独) 中小機構東北本部 セミナー室

- 協議事項 : ①東北 IM 連携協議会事業について  
 ・fy26 ワークショップ報告 (登米、米沢)  
 ・fy27 ワークショップについて (青森、岩手)  
 ・他事業について  
 ②情報提供  
 ・東北経済産業局様より (東北支援人材サミット報告等)  
 ③その他

⑥ ホームページの運営

東北 I M 連携協議会ホームページ開設運用

<http://www.taim.jp/>

会員の情報発信や交流のアイテムとして活用中。会員各位の活用やご意見をお待ちします。

⑦ 東北支援人材サミットへの協力

趣 旨 : 東北地域の産業支援機関、公設研、大学、経済団体、民間等に在籍するコーディネーター等が一同に会し、フェイス to フェイスによる交流を図る。

開催概要 : 計 3 回の「分科会」と、最終回として「サミット」を開催。産学官金、各種支援機関の職員、コーディネーター等の関係者、延べ 300 人以上が参加した。

開催日	タイトル	テーマ
平成 26 年 10 月 30 日	第 1 回 創業支援 (新城 Senior-IM パネリスト参加)	創業環境の整備、ベンチャー支援 創業に係る資金調達等
平成 26 年 11 月 28 日	第 2 回 B to B のビジネスモデル支援	ものづくり支援、 工業製品のマッチング等
平成 26 年 12 月 16 日	第 3 回 B to C のビジネスモデル支援	地域資源を活用した商品開発、 販路開拓
平成 27 年 1 月 22 日	最終回 東北支援人材サミット (佐藤事務局長 パネリスト参加)	支援人材の機能と資質 (機能と資質の向上のための研修・認定、人材間の連携等)

## 資料 1

### 「東北IM連携協議会ワークショップ in 登米」開催報告

はじめに：

(有) コンテナおおあみと登米市の協力を得て、開催した。宮城県開催で仙台以外は、隣接する石巻市での開催（平成 22 年 7 月）の以来となった。

先の震災では、内陸である登米市にも多大な被害があった。しかし、直後から津波の被災地への支援拠点となっている。現在も南三陸町の仮設住宅の多くが登米市に立地している。

このような現状もあり、従来からの農林生産品を活かしたビジネスに加えて、被災者のスモールビジネス創生も課題となっている。

開催概要：

期 日	平成 26 年 7 月 3 日（木）～ 4 日（金）
場 所	ホテル サンシャイン佐沼
内 容	開催地紹介、講演 (BI/IM の状況と方向性 JBIA 星野敏氏)、情報提供 (東北経済産業局、日本立地センター) 事例紹介 (地域資源を活かしたビジネス(付加価値)創造への取り組み)
参加者数	73 名 (総会、懇親会の部分参加も含む)
主 催	東北 IM 連携協議会
共 催	東北経済産業局、全国イノベーション推進機関ネットワーク (イノベーションネット)、日本ビジネス・インキュベーション協会 (JBIA)、(一財) 日本立地センター、(有) コンテナおおあみ
後 援	登米市、石巻専修大学、東部地方振興事務所登米地域事務所、(公財) みやぎ産業振興機構、(独) 中小企業基盤整備機構 東北本部

特記事項：

登米市からお酒、見学の移動用バスをご提供いただいた。

東北経済産業局に、会場に関する経費を負担いただいた。

(有) コンテナおおあみに、受け入れ事務や準備のご協力をいただいた。

登米開催の下準備として、6 月 5 日(木) 15:00～「BI キックオフセミナー in 登米」を開催に、佐藤亮事務局長の講演を実施した。

3 日午前に、事前レクチャー「BI/IM 入門」を開催し、10 名の参加が得た。開催に際して、講師として、星野氏 (JBIA) にご協力いただいた。

登米の現状：

ワークショップ開催以前から「コンテナおおあみの設置」や「登米ビジネスチャンス支援事業補助金」、「登米アグリビジネス起業家育成塾」などの活動が行われてきた。産業競争力強化の認定も受け、今後、インキュベーション手法も取り入れながら地元資源を意識した事業を展開するものとする。

今回の開催を機に、機関間や事業間のネットワークの重要性が認識されたのではないかと考える。

(株)テクノプラザみやぎ 齊藤 方達

## 「東北IM連携協議会 W.S.in 米沢のその後」

(公財) 山形県企業振興公社 舟越

### 1. 総論

「W.S.in 米沢」の開催以降さまざまな団体での動きが認められた。実効に届くには時間を要すると思うが、TAIMの事業が県を含めたIMの強化の一助となった事は間違いない。

### 2. 開催地での動き

米沢会議所からの情報提供、支援要請が増加しているほか、山形県で実施している会議所主催の創業支援ネットワーク「山形チャレンジ創業応援」事業で、湘南産業振興財団へ視察訪問を実施し、地域間を超えたネットワークを活かしつつある。

山形IMネットワーク協議会としても、さらに連携を深めたと確信している。

### 3. 山形県の動き

①平成25年度よりIMの養成を強化し、2か年で新規IM8名を増員（現体制11名）となったほか、連携体制を強化するため、山形IMネットワーク協議会を設立し、米沢WSの実施主体となった。

②今般、山形県の事業として、IM養成研修を当県で実施することとなり、IMをさらに25名(予定)を養成する予定。県の重要施策に位置づけ、IM養成のほか各機関との連携を視野に入れた地域振興を図る。県もWSに参加いただき、TAIMの取り組みを評価したものである。

### 4. 参加実績

平成26年10月23日 第一部

①講演：(一社) JBI A 星野敏会長

②情報提供：東北経済産業局 産業支援課

③事例研究：(有)山形工房 梅津雄治社長

(株)ニューテックソレイ 栗原晃社長

・平成26年度収支決算報告

東北IM連携協議会ワークショップ in 登米収支決算

平成26年7月3日～4日

(単位：円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	参加費	1,000	41	41,000	1	交流会費	一式		280,000
2	交流会費	5,000	56	280,000	2	昼食代	1,000	36	36,000
3	昼食代	1,000	36	36,000	3	会場費		1	50,000
4	会場費		1	50,000	4				
収入合計				407,000	支出合計				366,000
差引金額									41,000

・会場借用料は東北経済産業局様、から助成を受けております。

東北IM連携協議会ワークショップ in 米沢支決算

平成26年10月23日～24日

(単位：円)

収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	参加費	1,000	17	17,000	1	交流会・宿泊費	一式		365,061
2	交流会費	6,000	3	18,000	2	会場費追加	一式		1,540
3	交流会費	18,000	30	390,000	3	昼食代	1,380	29	40,020
4	昼食代	1,400	29	40,600	4	事務費	一式		2,166
					5				
収入合計				465,600	支出合計				408,787
差引金額									56,813

・会場借用料は東北経済産業局様、テキスト作成及び講師謝金はJBIA様から助成を受けております。

平成26年度東北IM連携協議会収支決算書

(単位：円)


収入の部					支出の部				
No	名目	単価	員数	金額	No	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			39,811	1	HP更新代		一式	18,036
2	WS in 登米			41,000	2	WS 米沢表彰等		一式	29,592
3	WS in 米沢			56,813	3				
4	利息			8	4				
5					5				
6					6				
収入合計				137,632	支出合計				47,628
差引金額									90,004


差引金額合計 90,004円は、平成27年度への繰り越しとする。

## 監査報告

平成26年度東北IM連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

平成27年6月30日

監事 横山 繁美 

監事 佐藤 利雄 

## 2) 第2号議案

### ・平成27年度事業計画(案)について

#### ① ワークショップ開催事業

- ・東北IM連携協議会ワークショップin青森(7月7日～8日)
- ・東北IM連携協議会ワークショップin一関(11月11日～12日開催予定)

#### ② 他機関との連携事業

- ・ビジネスマッチ東北2015への出展及びマッチング支援(11月5日)

#### ③ 各県IM養成研修への協力

- ・山形県創業支援マネージャー(IM)養成研修(6月30日～前期スクーリング～約5ヶ月間)  
研修生 20名
- ・平成26年度 福島県街なか産業支援人材育成事業 IM養成研修(10月～)

#### ④ IM関連情報の発信

- ・全国各地域IM連携組織の事業等について、ホームページ等を活用し会員への情報発信
- ・メーリングリストによる情報発信

東北IM連携協議会(一般会員:96名)

メーリングリストの概要

アドレス: [taim01@freeml.com](mailto:taim01@freeml.com)

システム: [www.freeml.com](http://www.freeml.com) を利用。

管理者: 斉藤方達(テクノプラザみやぎ)

東北IM連携協議会(役員用:19名)

アドレス: [touhoku-im@freeml.com](mailto:touhoku-im@freeml.com)

システム: [www.freeml.com](http://www.freeml.com) を利用。

管理者: 斉藤方達(テクノプラザみやぎ)

#### ⑤ 事業計画立案や活動内容検討

- ・支援企業ビジネスマッチング事業(仮称)を検討する。

#### ⑥ その他協議会の目的に資する事業

- ・日本立地センター、JBIA、東北経済産業局、基盤整備機構の事業に対する協力

#### ⑦ ワークショップ輪番について

青森(fy27)⇒岩手(fy27)⇒福島(fy28)⇒秋田(fy28)⇒宮城(fy29)⇒山形(fy29)



### 3) その他

#### ・役員所属変更の確認

#### 「東北 IM 連携協議会」役員

##### 代表幹事：

柿崎 博美 (公財) あきた企業活性化センター (所属変更)

##### 事務局長：

佐藤 亮 花巻市起業化支援センター

##### 幹事：

加藤 雅紹 (公財) 21 あおもり産業総合支援センター

上平 好弘 弘前大学地域共同研究センター

鈴木 尚登 Be linked 代表 Biz サポートよこて IM (所属変更)

平野 豊 (公財) 釜石・大槌地域産業育成センター

斉藤 方達 (株)テクノプラザみやぎ

大原 隆義 T-Biz：東北大学連携ビジネスインキュベータ

石川 宙生 (公財) みやぎ産業振興機構

庄司 孝一 独立行政法人中小企業基盤整備機構

舟越 博紀 (公財) 山形県企業振興公社

新城 榮一 特定非営利活動法人 福島県ベンチャー・SOHO・テレワーク共働機構

田中 章広 特定非営利活動法人 相双 NPO センター

##### 監査：

佐藤 利雄 国立研究開発法人科学技術振興機構 (所属変更)

横山 繁美 米沢ビジネスネットワークオフィス

# 東北 IM 連携協議会規約

## 第1章 総則

### 第1条(名称)

本会は、「東北 IM 連携協議会」(Tohoku Association of IM . 略称「TAIM」)と称する。

### 第2条(目的)

本会は、会員相互の連携を図り、東北地域におけるインキュベーション活動および地域の発展に資することを目的とする。

### 第3条(活動)

本会は、目的達成のために以下の活動を実施する。

- 1) 情報発信及び情報共有
- 2) 会員や関係機関のネットワーク形成
- 3) 会員及び関係者のスキルアップ
- 4) その他、目的達成に資する活動

## 第2章 会員

### 第4条(種別)

本会の会員は、次のとおりとする。

- 1) 正会員 : インキュベーション活動を実施する団体及び個人
- 2) 賛助会員: インキュベーション活動に関係する団体及び個人
- 3) 名誉会員: 幹事会が承認した団体及び個人

### 第5条(会員情報)

本会の会員は、連絡先を本会に届けなければならない。また、変更が生じた場合も同様とする。

## 第3章 会議

### 第6条(種別)

本会は、総会及び幹事会を開催する。

- 1) 総会は、全会員で構成する。
- 2) 総会は、年1回の定期会と必要に応じて、臨時会を幹事会が召集する。
- 3) 幹事会は、代表幹事、事務局長、幹事、監査で構成する。
- 4) 幹事会は、必要に応じて代表幹事が召集する。

### 第7条(議決)

会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、議決内容は会員により尊重する。

## 第4章 組織

### 第8条(種別)

本会は、次の役員をおくことができる。

- 1) 代表幹事及び事務局長(各1名)
- 2) 幹事(若干名)
- 3) 監査(若干名)

### 第9条(選出)

代表幹事及び事務局長、監査は総会において選出する。

幹事は、代表幹事が指名し、事務局長の同意を得て選任する。

### 第10条(任期)

役員の任期は三ヵ年とし、再任を妨げない。

### 第11条(事務局)

事務局は、事務局長の下に行う。

連絡窓口を東北経済産業局に置く。

### 第12条(顧問・相談役)

本会の運営の助言を行うために、次の役職を招請することが出来る。

- 1) 顧問
- 2) 相談役

### 附則

1. 総会において、出席者の2/3以上の賛同のあるときに、本規約の改正・変更ができる。
2. 代表幹事が職務の執行を出来ない場合は、事務局長が監査の同意のもと職務を代行できる。
3. 実施

本規約は平成24年7月6日より実施する。